

やさしい病害虫講座 36

ネギの害虫

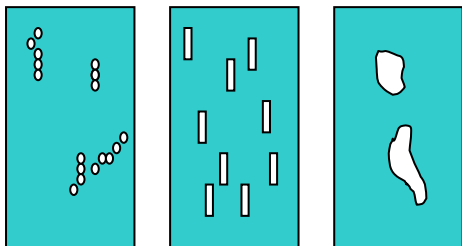
木村 裕

ネギをプランターや鉢で少しばかり栽培？している方は多いでしょう。ちょっとあれば薬味にも使えて便利ですね。この程度ならほとんど病害虫は発生しません。しかし、畑で栽培するとお約束通り、害虫や病気が発生します。

葉ネギは青いのが基本ですが、葉全体が白っぽくなることが多いです。とくに



春から夏にかけての栽培で多いですが、虫の姿は見つかりません。発生してからの防除は面倒ですので、苗を植えるとき土の中に粒状の薬剤を混ぜ込んでおくと言防効果があります(アルバリン、モスピランなど)。



アザミウマ ハモグリガ ネギコガ

【ネギアザミウマ】

この虫の被害がもっとも目立ちます。葉に小さな点のような色抜けです。葉全体にわたって無数の色抜けが生じるので遠目には葉が白く見えます。成虫でも長さが2ミリ以下で、淡褐色の細長い虫ですので皆さんのお目目では見つけることは難しいでしょう。幼虫は黄色でもっと小さいです。

【ネギハモグリバエ】

ハエの幼虫(ウジ)が葉の内側からなめるようにして食べますので、その部分は糸くずのような白い筋になります。たくさんの虫がつくと、無数の白い筋が現れ、遠目には葉全体が白く見

えます。成虫のハエは黒色で黄色の模様があって綺麗ですが、何分にも小さいので目にはつかないでしょう。

【ネギコガ】

葉に数ミリ~1センチの大きさの小斑紋状の色抜けが



現れ、丸い小さな孔があいていることもあります。葉の中にアオムシよりももっと小さな虫が住み着き、内側から葉をかじります。大きく成長した幼虫は葉から外に出て、葉の表面で網につつまれたまゆをつくりま

【ネギアブラムシ】

葉に真っ黒な小さな虫が行列し、葉から汁を吸います。短期間に急増しますので見つけしだいですりつぶします。ネギの他、タマネギ、ニラ、ワケギなどにも寄生します。

【シロシタヨトウ】

ときどき発生するヨトウムシです。ネギが好物で、葉身の中に入って大きな孔をあけます。



卵塊から産まれるため、最初は一部の株にのみ被害があらわれますので、その段階で虫を捕殺します。

【サビ病】

葉に赤錆がついたように点々と盛り上がったかさぶたのような物ができます。



ネギにしか発生しませんが、ひとたび発生すると防除は難しいです。あきらめてください(農協でしか薬は手に入りません)。